

1人1台端末の活用による実践事例

(特別支援学校)

学校名	岡山県立岡山盲学校	実践者名	原 広三
実践場面 (教科、領域、行事等)	高等部地歴公民、中学部社会		
単元・題材名	全単元		
学習目標・ねらい	基本的知識の定着を図る。		
対象の児童 生徒の実態	視覚障害		

活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する

(1) Forms を使って小テスト問題を作成する。

- ・ 1問20点で計5問（100満点）
- ・ 繰り返し解答できるように設定
- ・ 100点を取れるまで解答を提出

(2) 小テスト (Forms) の URL を授業の Classroom のストリームに投稿し生徒に知らせる。生徒はそのリンクを開き、解答を送信する。すぐに採点され、正解も表示されるので、2回目は正解を覚えた上でチャレンジする。

(3) 教師は Forms にログインすることにより、生徒の解答状況や誤答を確認することができる。

(4) インターネット上にある無料の問題データを、コピー&ペーストにより利用でき、簡単に小テストを作成することができる。



活用のポイント・改善策等

- ・ 点字用の生徒の場合は、漢字を正しく書くことが難しいため、点字のルール通りに仮名で解答しても正解となるように、漢字と仮名の両方の正解例を作っておく必要がある。
- ・ iPad の VoiceOver (スクリーンリーダー) が問題文の漢字を正しく読まない場合は、読み方を仮名でも書いておく必要がある。